

科目名・単位数	税務会計Ⅱ 2単位	科目分類	財務会計系	発展科目
配当年次	1年次・秋学期・昼・夜	担当教員	うえまつ きみお 上松 公雄	
履修形態	選択必修			
授業概要	<p>税務会計Ⅰの内容について、さらに理解を深めるために現に存在する問題点の検討を通じて深耕する。          現行法に対する解釈及び適用が、租税法の基本原則に照らして適正妥当に行われているか、また、法令の解釈、適用のあるべき姿について考察する。</p>			
到達目標	現に存在する法人税法上の問題点を確認し理解すること			
授業方法	講義を中心とするが、担当者が報告発表を行い、それに基づき受講生全員で検討、討論を行う演習形式も採り入れて進行する。			
事前・事後学習	<p>講義内容は1回ごとにテーマが変わるのではなく、複数回連続することになるので、事前学習及び事後学習はともに各回の講義におけるテーマと内容に関して復習されることを望む。          テキスト及び配布資料を再読することを中心に、受講者自身が疑問に思う点などを整理されたい。          事前・事後学習の時間：それぞれ90分</p>			
成績評価の方法	講義時間内に実施する課題レポートの水準に対する評価 60%、講義や報告発表、討論への参加、取組み方、疑問点を検討する姿勢などで40%の評価とする。			
フィードバックの方法	提出されたレポートの返却は行わないが、課題については講義時間内に要点の確認整理を行う。			
履修上の注意	担当課題の報告発表と討論とによって自身の「足らざる」を認識していただきたい。			
授 業 計 画				
第1回	<p><u>内容</u>: 基本的事項の確認  <u>概要</u>: ガイダンス/税務会計における論点          税務会計Ⅰのおさらいを兼ねて、所得金額の計算構造及び公正処理基準の意義と沿革について確認する。</p>			
第2回	<p><u>内容</u>: 基本的事項の確認・事例研究  <u>概要</u>: 公正処理基準における公正妥当性についての考え方(その1)          判決例(大竹貿易事件・第一審)について確認、検討する。</p>			
第3回	<p><u>内容</u>: 基本的事項の確認  <u>概要</u>: 公正処理基準における公正妥当性についての考え方(その2)          判決例(大竹貿易事件・最高裁)について確認、検討する。</p>			

第4回	<p><u>内容</u>: 基本的事項の確認</p> <p><u>概要</u>: 公正処理基準における公正妥当性についての考え方 (その3) 判決例 (大竹貿易事件・最高裁) について確認、検討する。</p>
第5回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認・事例研究</p> <p><u>概要</u>: 低額譲渡における低額部分が益金となることの根拠の確認 (その1) 判決例 (南西通商事件) について確認、検討する。</p>
第6回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認・事例研究</p> <p><u>概要</u>: 低額譲渡における低額部分が益金となることの根拠の確認 (その2) 判決例 (南西通商事件) について確認、検討する。</p>
第7回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認</p> <p><u>概要</u>: 収益認識の基準 (その2) 個別論点 (割賦販売・請負収益 (工事請負)) について検討する。</p>
第8回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認</p> <p><u>概要</u>: 収益認識の基準 (その2) 個別論点 (割賦販売・請負収益 (工事請負)) について検討する。</p>
第9回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認</p> <p><u>概要</u>: 収益認識の基準 (その3) 個別論点 (請負収益 (工事請負)・返品権付販売) について検討する。</p>
第10回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認</p> <p><u>概要</u>: 収益認識の基準 (その4) 個別論点 (ポイントの付与・プリペイドカードの発行) について検討する。</p>
第11回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認・事例研究</p> <p><u>概要</u>: 過年度の所得金額の計算要素に誤りがあった場合の税務会計上の取扱い (その1) 判決例 (過払電力料事件・第一審及び最高裁) について確認、検討する。</p>
第12回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認・事例研究</p> <p><u>概要</u>: 過年度の所得金額の計算要素に誤りがあった場合の税務会計上の取扱い (その2) 判決例 (過払電力料事件・第一審及び最高裁) について確認、検討する。</p>
第13回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認・事例研究</p> <p><u>概要</u>: 過年度の所得金額の計算要素に誤りがあった場合の税務会計上の取扱い (その3) 判決例 (過払電力料事件・第一審及び最高裁) について確認、検討する。</p>
第14回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認・事例研究</p> <p><u>概要</u>: 過年度の所得金額の計算要素に誤りがあった場合の税務会計上の取扱い (その4) 判決例 (架空外注費事件・第一審及び控訴審) について確認、検討する。</p>
第15回	<p><u>内容</u>: 重要事項の確認・事例研究</p> <p><u>概要</u>: 過年度の所得金額の計算要素に誤りがあった場合の税務会計上の取扱い (その5) 判決例 (架空外注費事件・控訴審) について確認、検討する。</p>
テキスト	
参考図書	『租税判例百選 (第6版)』有斐閣